

スイッチでのHTTPおよびHTTPSサービスの無効化

目的

この記事の目的は、200、220、250、300、350、および550シリーズスイッチでHTTPおよびHTTPSサービスを無効にする方法を示すことです。

適用可能なデバイス

- 220 シリーズ
- 250 シリーズ
- 300 シリーズ
- 350 シリーズ
- 550 シリーズ

概要

Webユーザインターフェイス(UI)を無効にして、コマンドラインインターフェイス(CLI)のみを使用してネットワーク内のスイッチを管理する場合は、適切な場所に移動しました。Hypertext Transfer Protocol (HTTP ; ハイパーテキスト転送プロトコル) およびHypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS ; ハイパーテキスト転送プロトコル) は、220、250、300、350、および550シリーズのスイッチでは、Web UIまたはCLIのいずれかを使用してディセーブルにできます。

すべてのスイッチモデルに、管理用のコンソールポートが搭載されているわけではありません。コンソールポートのないモデルの場合、SSHまたはTelnet、あるいはその両方を使用してコマンドラインアクセスを有効にする必要があります。

Web UIを使用したHTTPおよびHTTPSの無効化

手順 1

ユーザ名とパスワードを入力してスイッチにログインし、Log Inをクリックします。



Switch

cisco

1



2

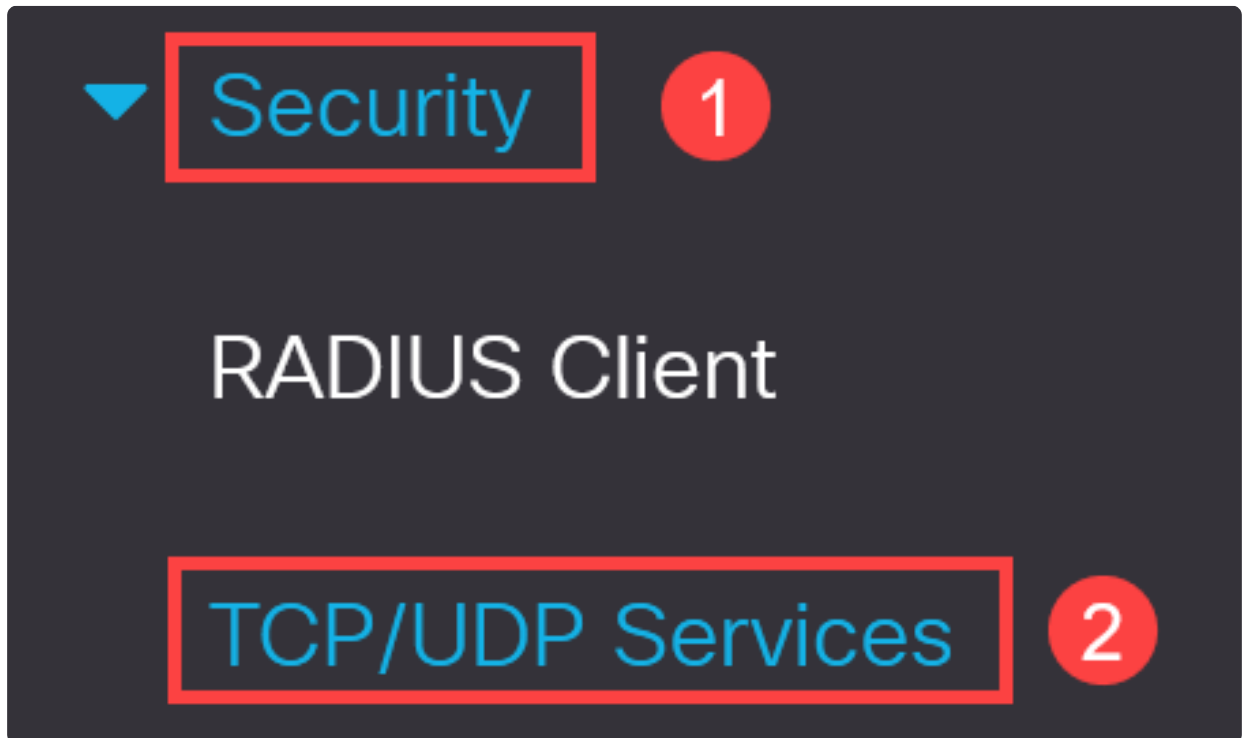
English ▾

Log In

3

手順 2

Security > TCP/UDP Servicesの順に移動します。



手順 3

HTTP ServiceとHTTPS Serviceのチェックボックスをオフにします。

TCP/UDP Services

HTTP Service: Enable

HTTPS Service: Enable

SNMP Service: Enable

Telnet Service: Enable

SSH Service: Enable

Note:

リモートコマンドラインアクセスが必要な場合は、SSH Serviceの横にあるボックスにチェックマークが付いていることを確認します。

手順 4

[APPLY] をクリックします。

TCP/UDP Services

HTTP Service: Enable

HTTPS Service: Enable

SNMP Service: Enable

Telnet Service: Enable

SSH Service: Enable

WebブラウザからWeb UIにアクセスできなくなり、SSHまたはコンソールポート（スイッチにコンソールポートがある場合）経由でCLIを使用してさらに設定を行う必要があります。

手順 5

設定を保存するには、CLIを使用して次のコマンドを入力します。

```
write
```

手順 6

Yを押して確定します。

```
Y
```

CLIを使用したHTTP/HTTPSの無効化

手順 1

リモートコマンドラインアクセスが必要で、まだ有効になっていない場合は、次のように入力してSSHサービスを有効にします。

```
ip ssh server
```

手順 2

HTTPサービスとHTTPSサービスを無効にするには、次のコマンドを使用します。

```
no ip http server
```

```
no ip http secure-server
```

手順 3

設定を保存するには、次のように入力します

```
write
```

```
Y
```

結論

これで、Web UIとCLIを使用してスイッチでHTTP/HTTPSを無効にする手順が学習されました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。